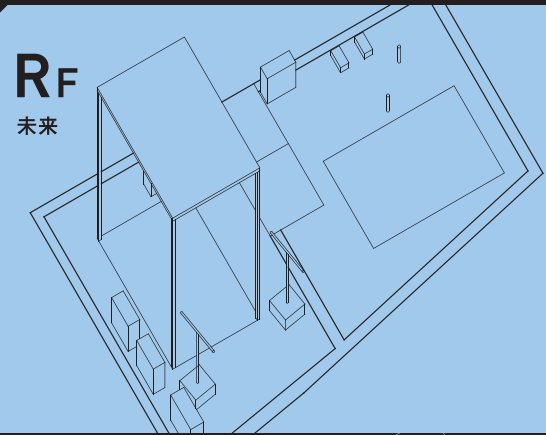


# MUSEEの可能性を引き出す

▶ 銀座の未来を考える人々が集まる場をつくる

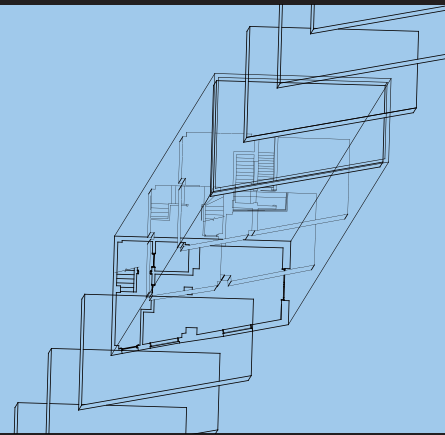
Rf  
未来



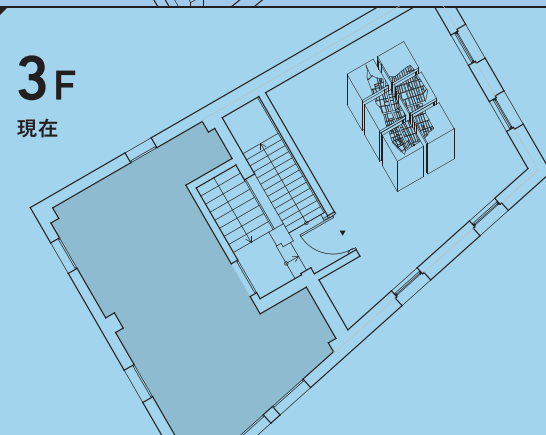
## 銀座を見上げる Platform

ある一つの未来へ

MUSEEの10m程の屋上。小さく低く切り取られたこの外部空間は、他の何処にもない、独自の景観を作り出している。強いメッセージ性を帯びているような、周囲から取り残されてしまったかのようなその空間に、未来について考え、それを共有し合うためのプラットフォームを付け加える。MUSEEの屋上に設置される2枚の鏡は、それぞれ摩天楼と空の広がりを象徴している。反復される風景とそこに映り込む自分自身の姿。眼前にそびえる日常の銀座を捉えつつ、その視界の中に日常とは異なる風景を取り込む仕掛けをつくることで、新しい発想を喚起するきっかけになるのではと考えた。未来の形は人それぞれでも、共有し合うことで、それはより強固なりアリティを獲得する。100年後の未来と今日の現実、このプラットフォームが両者の架け橋になればと思った。



3F  
現在



## 銀座を触る Explore

探索

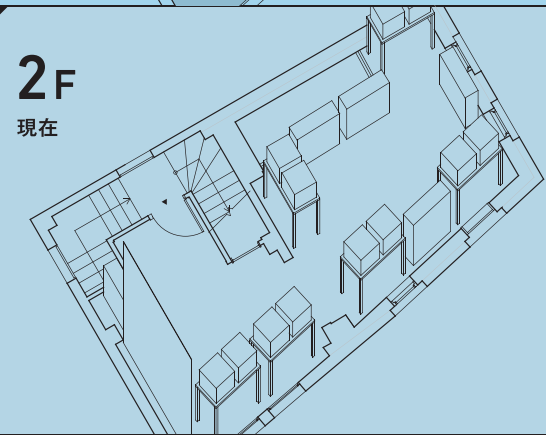
首都高速で切り取られた銀座の輪郭は、さながらマンハッタン島のような。銀座の歴史は、造形の歴史だろうか、不動産の歴史だろうか、文化の歴史だろうか、経済の歴史だろうか。超高層の建物が存在しなかった銀座に歌舞伎座が出来た。これは、是か非か。建築におけるスタディとは、プロジェクト実現以前の段階であらゆる状況を想定して、あらゆる造形を作り試行錯誤を繰り返す事。銀座で行われるスクラップアンドビルドは、可能性を見出すスタディ行為になり得るのだろうか。銀座の輪郭を模ったテーブルが、その検証の場となる。未来を作るのは、無作為の集合知か、秀でた誰かのアイデアか。



島  
としての銀座



2F  
現在



## 銀座を問う Research

消えゆく古い建物

憧憬と銀座ランド  
鈴木ビル  
ギャラリー一点在

事実としての昭和通り / 新しい世代の想い

ハタチ、これからの20代が銀座の未来に対して何を想うのか。その考察の一例がここに紹介される。MUSEEを題材にした仮想のリノベーション計画。好意的にしる悲観的にしる。そこに描かれる未来は、これから未来を描く人々が予行演習として描いた未来に他ならない。この場所で、観察者は、自分たちが密かに描いている未来と、新しい世代が率直な気分で描いた未来とを比較する。観察の手助けとして、事実としての昭和通りが分かるダイアグラムも幾つか用意される。他人の考えを批評し、では自分にはどのような考えがあるのか検討する。批評は次なる創作のきっかけとなる。

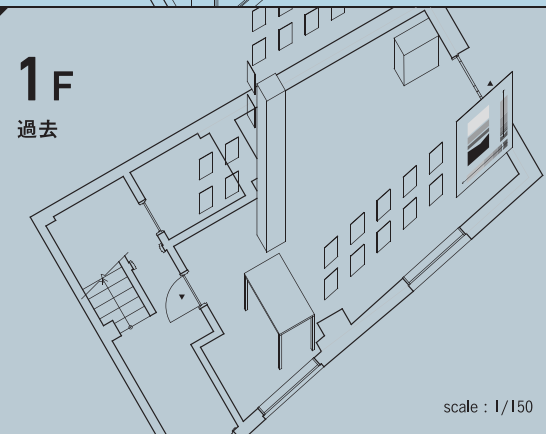
新歌舞伎座の高さ  
教寄屋橋  
奥野ビル  
旧路面電車  
関東大震災と帝都復興計画  
後藤新平  
銀座ルールと例外  
ルイ・ヴィトン  
高度利用地区

モボ・モガ  
マンハッタン  
昭和通り  
歩行者天国  
江戸前島  
銀座でブルーコーヒー  
旗艦店多い  
高級クラブ  
ティアファニー  
銀座の総本山  
Duty Free GINZA  
柳の名残  
明暦の大火

地価 No.1  
ユニクロ  
銀座館  
ザギン  
apple  
地区計画  
超高層  
中央通り  
爆買い  
泰明小学校  
短冊形街区



1F  
過去



## 銀座を訪れる Memory

絵葉書

銀座は、記憶される。現在であればスマートフォン片手にフェイスブック。しかし、過去に銀座を訪れた人々は、銀座を未だ見ぬ人々に向けて絵葉書を送った。場所を伝えるツールだった絵葉書は、長い年月を経て、時を伝えるツールへと変わっていく。敗戦後の混乱の中、それでもハレの日を求めて銀座に集まる人々・・・銀座の記憶は、人々の要望の記憶。「銀座の役割は終わった」という人がいる。銀座は何時、その役割を終えたのだろうか。現在、人々は銀座に要望を持たないのだろうか？ 未来、人々は銀座に何を求めるのだろうか。

【併催】100周年を迎えた川崎ブランドデザインが関わった建築、ギャラリーでの企画、世界展開をグラフィカルに紹介。



銀座

銀座大通り

焦土化した銀座通り

京橋銀座大通り

銀座通り 市民の雑踏

整然たる昭和通りの美観

銀座

銀座大通り

焦土化した銀座通り

京橋銀座大通り

銀座通り 市民の雑踏

整然たる昭和通りの美観

銀座

銀座大通り

焦土化した銀座通り

京橋銀座大通り

銀座通り 市民の雑踏

整然たる昭和通りの美観

### アーキディレクション

oohk + nya  
企画・ディレクション・出品者。1F・2F展示作品の監修、3F・屋上展示作品の設計・製作。



oohk | 菊池甫一級建築士事務所 山本展久アトリエ 荒川企画室

菊池 甫 1982年東京都生まれ。2008年大分大学大学院(工学研究科建設工学専攻 建築・都市計画研究室)修了。2015年より現職。葛飾区を拠点に一級建築士として活動。

山本 展久 1982年兵庫県生まれ。2009年大分大学大学院(工学研究科建設工学専攻 建築・都市計画研究室)修了。2015年より現職。荒川区を拠点に一級建築士として活動。

### キービジュアルデザイン

100周年ロゴ、リーフレット、1F会社紹介展示の製作。2F指標展示作品の一部製作。

高上 旭  
1980年福岡県生まれ。2008年大分大学大学院(工学研究科建設工学専攻 建築・都市計画研究室)修了。2012年より現職。

### 2階学生作品監修

多摩美術大学環境デザイン学科教授  
岸本章  
1956年東京都生まれ。1982年東京藝術大学大学院美術研究科修了。2008年より現職。

多摩美術大学の学生たちが提出する作品は、授業の一環として取り組んだ課題「museeのリノベーション」が基になっています。どの作品にも、学生達が真剣に向き合った成果、現在や未来の銀座に対する想いがしっかりと込められています。

### イベント企画



### 銀座たても展実行委員会

銀座8丁目、中銀カプセルタワービルを拠点に、住人や関係者により2013年に結成されたグループ。「建物」に込められた思想や物語を共有することで、新たな可能性を探り、銀座の「建物」と「人」を結び付け、地域文化を高め合うことを目標としている。定期的に、展覧会・建築ツアー・ゲストトークなどを主催し、地域のコラボレーターとしての役割も果たしている。

### 会期中イベント (2016.10.14 時点)

会期中は銀座に縁のある方をお招きし、ギャラリートークやワークショップ等を開催する予定です。

【ビデオ上映】  
「銀座建物ものがたり〜銀座館」とトーク

ゲスト：石川信行  
西松典宏(銀座奥野ビル306号室プロジェクト)

銀座6丁目、かつて松坂屋デパートのある中央通りから二筋入った静かな通りに「銀座館」という小さなビルがあった。関東大震災後に建てられ、大規模な再開発により2013年に歴史の幕を閉じた。地下には剣持勇・渡辺力デザインの「BAR TARU」、3階には「現代画廊」、5階には「テラスコート」があり、文化の香りの漂うビルだった。銀座館の誕生、建物の特徴の紹介、関係者の声など、ビルの歴史と物語に迫ります。